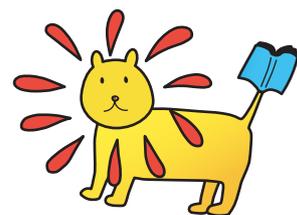


りぶらサポータークラブ 平成 25 年度 活動報告書



平成 26 年 3 月
りぶらサポータークラブ



りぶらいおん©LSC

Libra I n

りぶらサポータークラブ平成 25 年度 活動報告書

平成 26 年 3 月

りぶらサポータークラブ

〒 444-0059 岡崎市康生通西 4 丁目 71 番地

岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内

TEL : 0564-23-3114 FAX : 0564-23-3142

info@libra-sc.jp <http://www.libra-sc.jp>

目次

ごあいさつ	…… 2
りぶらサポータークラブの沿革	…… 3
平成 25 年度の事業一覧	…… 5
平成 25 年度事業報告	
会議・広報	…… 6
サポーターマネジメント	…… 7
りぶらまつり	…… 8
生涯学習シンクタンク	…… 10
シネマ・ド・りぶら	…… 14
岡崎図書館未来企画	…… 16
りぶら いきものみつけ隊	…… 17
外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会	…… 18
冬のコンサート	…… 20
りぶら狂言教室・狂言鑑賞会	…… 21
平成 26 年度の運営方針	…… 22

ごあいさつ

平成 20 年秋に岡崎市図書館交流プラザ・Libra のオープンとともに発足した「りぶらサポータークラブ」も足かけ 6 年になろうとしています。初めはどのように進んでいったらよいか手探り状態でしたが、次第に、何をしていくべきか、市民主体でいながら市と協働するということがどういうことか、が見えてきました。図書館交流プラザの理念である、「文化発信・生涯学習・図書館充実・人々の交流・地域発展」を踏まえ、各事業において、市民の方々とともに楽しみながら形作ることができたのではないかと思います。

今年の「りぶらまつり」では、りぶらに足を運んでいただくだけでなく、積極的に「楽しい!!」を見つけてもらえることを目指しました。「りぶらまつり」をきっかけに、りぶらでの日常の活動や利用の中で、「楽しい」ものやことを見つけていただけることが私たちの願いです。また、東北の大震災や東海地方の地震が心配されている今、多くの市民団体が参加する実行委員会の中で防災講座を開催しました。まつり当日や日ごろの活動にも役に立ててもらえたと思っています。

また、大きなイベントだけでなく、地道な活動も定着してきています。図書館活用・文化・交流を目的とした「シネマ・ド・りぶら」では、毎回楽しみに来て下さる方もあり、午前・午後ともにホールが人で埋まっています。「外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会」では、今まで参加者が集まるだろうかと心配していましたが、今回は募集人員を超える応募がありました。アジア・ブラジル・アメリカなど、国際色豊かな出身地の方々が、懐かしい曲や新しい曲を日本語で歌い上げてくれました。また、年 3 回の「りぶら講座」には多くの講師が手を挙げてくださり、参加者とともに楽しんでいただけています。岡崎の中に多くの人材がいること、学びたい方がいることがわかり、これからの岡崎が楽しみになっています。この「りぶら講座」がりぶらだけでなく、広い地域で開催されるためのモデルとなるよう頑張っていきたいと思っています。

今年度より、りぶらのサポーターとなっただけのようにサポーターを募集しました。本の清掃や書架整理など、地味なお手伝いにも多くの方が参加して下さり、りぶらを自分たちの施設として身近に感じてくださっています。各事業を開催していく中で、少しずつ理解者を増やし、お手伝いして下さる仲間をふやせたらと思っています。

そして、平成 26 年度も多くの方の意見を聞きながら、市民や行政の適切なサポートができるよう、充実した活動を目指していきます。



りぶらサポータークラブ
代表 山田美代子

設立趣意

私たちは、岡崎市図書館交流プラザ(愛称 Libra(りぶら)、以下 Libra)の開館に向けて、平成 16・17 年度に行われた設計・運営に関する市民検討ワークショップに参加してきました。その中で、「Libra を市民の力でより良い施設とするため【りぶらサポーター】として活動しよう!」という気運が盛り上がり、平成 18 年度より、りぶらサポーター活動を発足させました。そして、Libra を活用するときに必要なと思われることを考えながら、私たち市民の自発的かつ多面的なサポーター活動の実践を行ってきました。

その活動の中から、「Libra」は単なる施設の名称ではなく、「岡崎市全体の生涯学習の象徴」であることが共有されました。そして、市民がその運営に積極的に参画する仕組みを継続的に確保する必要があることに気づかされました。

Libra が目指すところは「市民が気軽に訪れて楽しく利用することができる施設」、「交流や周辺地域の賑わいを生み出す施設」、「図書館を核とした生涯学習施設」です。それを真に実現するためには、これまでのように運営を行政まかせにするのではなく、私たち市民が積極的に提言・評価をすることが必要です。また、市内全体の生涯学習や市民活動の連携や協働を、市民が主体となって進めていくことが重要です。

Libra を中心に、岡崎市全体の文化向上、市民相互の交流および地域の活性化、生涯学習の発展を進めるためには、以下の認識を共有しなければなりません。

- ・市民自らが施設の運営に参画する重要性
- ・既に協働関係にある各市民団体やプロジェクト活動を市民参画の仕組みとして継続させる必要性
- ・市民、教育機関、企業・事業者、行政が連携・協働のもとに、それぞれの役割と責任を担うという「新しい公共」の発想の下、岡崎市全体の市民活動・生涯学習を統合する市民組織の必要性
- ・自らが住む地域への主体的な参加意識の重要性

ここにおいて私たちは、Libra の運営と事業への市民参画の観点から、多様な市民活動を支援し、連携・協働を進めるために積極的な役割を果たすことが必要と考えました。そして、Libra をより魅力的な施設にするための活動を通じて、民・学・産・官の連携・協働を進めるために積極的な役割を果たすという「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、市民相互の交流の活性化と、岡崎市全体の文化向上および生涯学習の発展に寄与することを目的に、行政から自立し、かつ対等な関係を保ちながら協働する市民活動団体として、「りぶらサポータークラブ」を設立しました。

2008 年 11 月 8 日設立

市民参画（「Libra」のホームページから）

図書館交流プラザが出来上がるまでには、設計から管理運営の計画まで、多くの市民が関わっています。

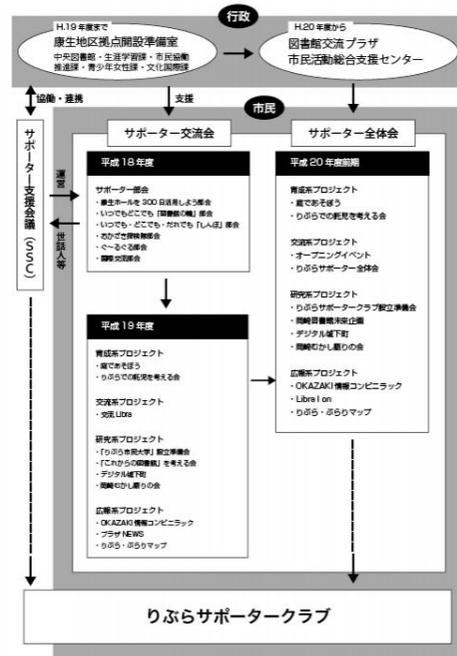
平成 16 年度に始まった市民検討ワークショップにおいては、市民と設計者・行政が参加して、施設の大まかな配置計画（基本設計）を作り上げました。

平成 17 年度には、前年に引き続いて市民検討ワークショップが行なわれ、施設の詳細設計（実施設計）と、建設後の管理運営に関わることまで検討事項が広がってきました。また、このワークショップで話されたことを活かしていくため、いくつかの市民主体のグループを作り「部会」として活動していくことが提案されました。

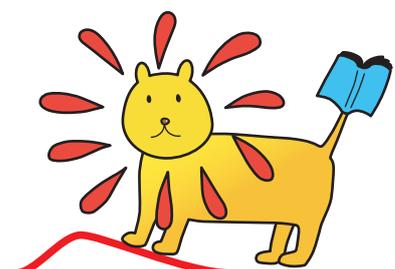
平成 18 年度からは、市民からの提案や「より深く関わっていきたい」との市民の声を受け、市民と行政との協働を模索し始めました。前年の提案は、この施設をよりよいものとしようとする「サポーター」と呼ばれる市民により、主体的な活動としての「部会」となり、実験的的事业が行なわれました。また、部会の代表者や市民有志がサポーター支援会議（通称：SSC）を組織し、サポーター間の情報交換や出会いの場として「サポーター交流会」を行政とともに企画運営しました。

平成 19 年度は、主に場所ごとに集まっていた「部会」を発展的に解消し、より具体的な活動ごとに集まる「プロジェクト」に移行しました。広報系・育成系・研究系・交流系と 4 つの系統に分類されたプロジェクトでは、フリーペーパーの作成や託児の検討など「誰が、何を、いつ」行うのかということを強く意識し、活動する市民の姿が具体的に変わってきました。

設計のコンセプトの一つである「市民とともに成長する」施設として、市民と行政の協働を模索しながら進め、平成 20 年 11 月の開館後も取り組みを継続します。



区分	事業		活動主体	担当
運営	運営会議		運営委員	山田
	広報	情報誌編集	事務局	戸松
		ホームページ運用・更新		
		りぶらグッズ		
	りぶらまつり		実行委員会	杉浦
サポーターマネジメント		運営委員	山田	
活用	岡崎図書館未来 企画	企画・提案	サポーター	戸松
		『狂言』調べる学習会	サポーター他	
		書架整理／本の清掃	サポーター他	山田
	生涯学習シンク タンク	岡崎市はじめましてサロン	事務局	内田
		りぶら講座		
	シネマ・ド・リ ぶら	映画上映会	サポーター他	森崎
		映画講座	サポーター他	戸松
	りぶら いきものみつけ隊		サポーター他	杉浦
	冬のコンサート		運営委員	山田
	外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会		サポーター他	戸松
狂言勉強会・鑑賞会・お稽古会		サポーター他	杉浦	
参画	子ども遊びワークショップ		総務	山田
	七夕飾り		総務	
	図書館まつり		実行委員会	
派遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館協議会		戸松	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		村松	



会 議

総会 日時： 5月25日(土) 16:00~17:40
 場所： 会議室 301・302

運営委員会

開催日	時間	内容
4月19日(金)	18:30～20:20	図書館まつり・総会・りぶらまつりについて
5月17日(金)	18:30～20:30	総会・りぶらまつりについて
6月28日(金)	18:30～20:00	図書館まつり・りぶらまつりについて
7月19日(金)	18:30～20:00	りぶらまつり・情報誌について
8月23日(金)	18:30～19:40	りぶらまつりについて
9月20日(金)	18:30～20:30	りぶらまつり・りぶら講座について
10月18日(金)	18:30～20:00	りぶらまつり・シネマについて
11月8日(金)	18:30～20:30	りぶらまつり・シネマについて
12月20日(金)	18:30～20:40	冬のコンサート・のど自慢大会について
1月17日(金)	18:30～20:30	のど自慢大会・狂言鑑賞会・懇親会について
2月20日(金)	18:30～20:30	狂言鑑賞会・「じんじん」について
3月14日(金)	18:30～20:10	次年度事業について

広 報 <http://www.libra-sc.jp>



サポーターマネジメント

本年度より、りぶらサポーターの在り方を見直し、サポーターへのきめ細かい情報提供や活動のフォローを進めてきました。また、サポーター登録をしていなくても活動できる場の提供も進め、多くの方々がりぶらとつながる機会を設けました。

【サポーター登録状況】

サポーターの種類	登録数	賛助会費	
活動サポーター	24名	運営ほか	138,000
賛助サポーター	15名	シネマ	80,000
活動・賛助とも	16名	りぶらまつり	4,000
		のど自慢大会	4,000
		狂言	6,000
合計	55名	合計	232,000

【サポーターへの情報提供】

メーリングリスト：随時
はがき：年4回
(7月、9月、12月、4月)

【サポーター交流会】

平成26年3月2日(日) 10:00～12:00
会議室101 参加者：17名

【活動状況（活動延べ人数）】 ※ ボランティアはサポーター未登録者。運営委員は活動サポーターから選出。

事業	回数	ボランティア	活動サポーター	運営委員	合計
りぶら いきものみつけ隊	11回	11		10	21
シネマ・ド・りぶら	8回	8	16	26	50
りぶらまつり 2013	2日	18	16	14	48
外国人のど自慢大会	1日	13	2	6	21
狂言教室・鑑賞会	1日	2		6	8
子ども遊びWS	2日	23	5	8	36
七夕飾り	1日		4	2	6
書架整理	随時	583	58		641
冬のコンサート	1日			6	6
本の清掃	25回	178	42	51	227
緑化	随時	16	1		17
合計		852	144	129	1,125

【活動状況の昨年度との比較】

	24年度	25年度
ボランティア	427	852
活動サポーター		144
運営委員	131	129
合計	558	1,125

25年度は24年度に比べ、事業に参加したボランティアや活動サポーターは、ほぼ倍の1,000人を超えた。増加要因としては、書架整理及び本の清掃がある。書架整理は、昨年220人に対して600人弱になった。

- ・新しく設けた活動サポーターが活躍し、それぞれが望む事業に参加でき、大変好評だった。
- ・一般募集のボランティアが、運営委員とともに多くの事業に参加し、交流することで活動サポーターの増加につながった。
- ・図書館まつりでは、来館者40名が飛び込みボランティアとして本の清掃に参加した。
- ・外国人のど自慢大会では「VIVA!! 岡崎」から5人が参加し、協働して開催することができた。
- ・東口エントランスへのプランター設置から緑化事業が生まれ、ボランティア事業が増えた。

りぶらまつり 2013



「楽しい!!」を見つけよう!

日時：11月16日(土)・17日(日)
場所：りぶら全館

開催趣旨：「りぶらまつり」は、「りぶら」のオープン当初から、それまでの市民ワークショップの流れを汲み、市民による市民のためのおまつりとして開催されてきました。2011年からは、『第2次岡崎市生涯学習推進計画』の中で、「交流機会の提供」という位置づけも加わり、りぶらを舞台として、市民・市民活動団体・民間事業者・市などを結びつける交流事業の意味も付加されました。単に「りぶらでおこなわれるおまつり」というのではなく、「りぶらを活かすおまつり」として開催されてきました。

その目的として、ひとつに「りぶらでの学びを創る」こと、そして「交流による新しい学びを創る」ことの2

つがあります。また、実行委員として参加する目的は、参加する楽しみと創る楽しみの二つを満喫していただくことです。以下の実行委員参加者心得を徹底し、たくさんの「楽しい!!」を見つけました。

1. 参加者一人一人が、りぶらまつりの担い手です。
1. 参加者一人一人が、りぶらまつりの案内ができるようにしておきましょう。
1. 参加者として、来場者として、ボランティアとして、2日間を活用し楽しみましょう。
1. 来場者へのこころ配りを忘れずに。参加者の都合を優先させないようにしましょう。
1. ゴミは各自で持ち帰りましょう。設営時より美しい片付けを目指しましょう。

来場者の皆様にも、たくさんの「楽しい!!」を見つけていただけたと思います。





実行委員長 : 岡崎 miso 娘

グループ担当 :

ホールグループ 三浦 (連尺学区朗読の会ヒメボタル)

縁日グループ 長尾 (ウィーラス工房)

縁側グループ 嶋田 (おかざきニュース& Earth as Mothers)

福祉グループ 小竹 (グリーンマップおかざき)

新たな取り組み :

① 実行委員対象の防災講座を開催

日時 : 10/6 第3回実行委員会 13:30 ~ 15:00

講師 : 川田昇司氏 (防災・危機管理アドバイザー)

② のぼりの設置と法被の着用し、おまつりらしさを演出できた。

【りぶらまつり 2013 の記録】

準備会・反省会参加人数 :

7/14 (51人)・9/15 (61人)・10/6 (52人)・
11/10 (54人)・12/1 (27人)

来館者数 : 16日・6,419人、

17日・6,958人、合計・13,377人

実行委員団体数 : 38

プログラム数 : 54

ストリート広場出店者数 : 10店

実行委員参加スタッフ数 : 約 400人

ボランティア数 : 23人

おみくじ (スタンプラリー参加者) : 915人

景品寄贈 : 851点 りぶらグッズ : 64点

【りぶらまつり 2013 の記憶 (アルバム)】はホームページで <http://www.libra-sc.jp>



岡崎市生涯学習シンクタンク

事業の目的

『第2次岡崎市生涯学習推進計画』をいかに実施するかを考え、よりよい学びの場づくりや、学習機会の創出を目指して話し合い、市内の生涯学習の充実をはかる。

活動実績

【岡崎市はじめましてサロン】

開催日	時間	場所	関係者	一般
4月16日(火)	13:30～15:00	活動コーナー	6	3
2月18日(火)	13:30～15:00	活動コーナー	3	2
3月18日(火)	13:30～14:30	活動コーナー	3	1

4月以降利用者がなかったため、次年度サロンの開催は見合わせることを考えていましたが、申込みがないわけではなく、窓口としての機能はあった方がいいと結論しました。次年度は、毎月の日時を決めた定期的開催ではなく、市民活動センターに問い合わせがあり次第、利用者の希望する日時に合わせ、随時対応します。

【りぶら講座】

「りぶら講座」の目的

- ① りぶらでの生涯学習の推進をすること
- ② 市民の皆さんの学びのきっかけをつくること
- ③ 市民・団体・事業者が持つ「特技」を市民の皆さんの学びに活用すること
- ④ りぶら施設の活用を進めること

	開催日	講座数	講師数	受講者数
24年度前期	6/19(火)～10/16(火)	36	38	417
24年度後期	12/18(火)～3/24(日)	69	66	868
24年度合計		105	76	1,285
25年度前期	6/2(日)～8/26(月)	86	81	780
25年度中期	9/1(日)～11/23(土)	42	36	340
25年度後期	12/5(木)～3/27(木)	72	58	552
25年度合計		200	113	1,672

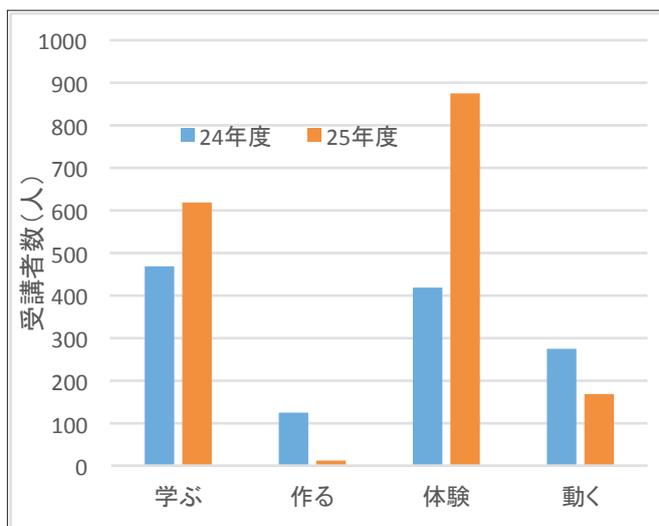
※ 講師の合計人数は実数、受講者数は延べ人数です。

今年度、講座数は約2倍になり、新しく56名の講師が参加しました。一方で、参加者の伸び率は低く、講座の平均参加者数は減っています。

25年度「りぶら講座」の解析

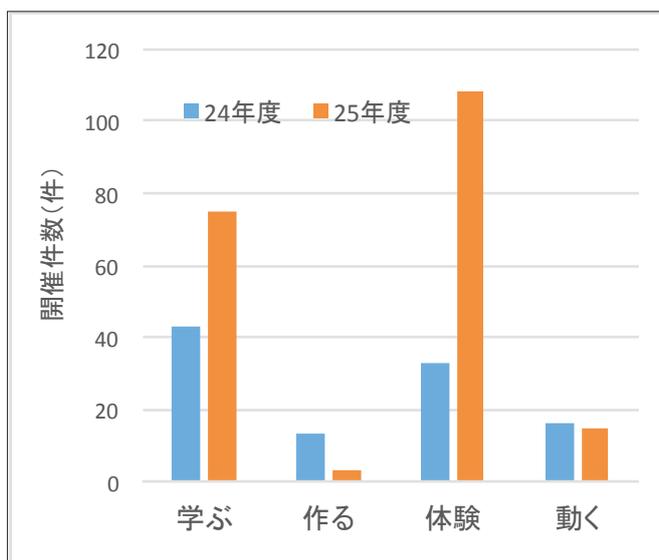
【受講者数】

25年度受講者総数は1,672人で、24年度に比べて387人の増加になった。24年度、25年度の総計では2,957人になり延べ3,000人ほどの人が学ぶきっかけにつながったと思われる。講座内容的には「学ぶ」「体験」が増え、「作る」「動く」が減少。「作る」の減少の要因は、有料であることが一因と考えられる。「動く」は、太極拳の回数の減少が要因と考えられる。



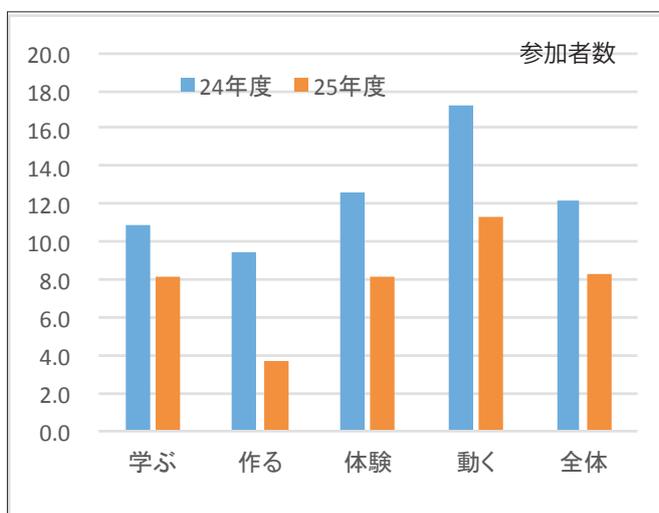
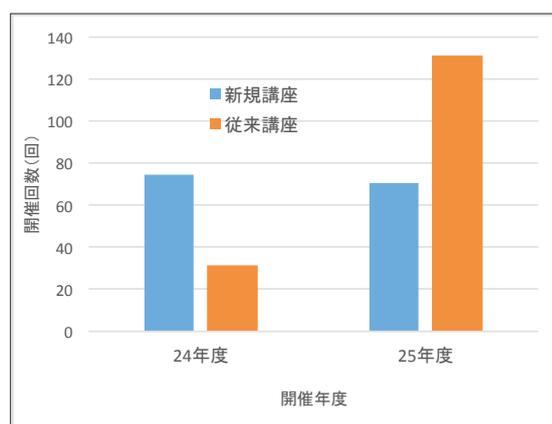
【開催件数】

25年度開催件数は200件で、24年度に比べて95件の増加になった。講座内容的には「学ぶ」「体験」が大幅に増えた。



【参加者数平均】

一講座当たりの受講者数は、24年度=12.2人から、25年度=8.3人に減少。



【新規講座と従来講座の関係】

24年に新規に74講座が起き、31講座が従来講座として開催された(24年度は2回開催)。25年度は25年度と同レベルの70講座が新規に起きた。25年度は3回開催の影響もあり、従来講座が131回開催された。

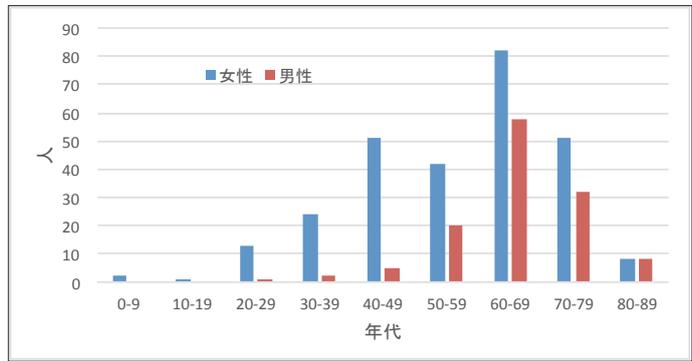
25年度りぶら講座後期（12月～3月）参加者アンケート解析結果

【りぶら講座受講者人数】

後期参加者は533名で、アンケート回答者数は472名。回答率は85.4%。女性の参加者が多く、70%近くになる。

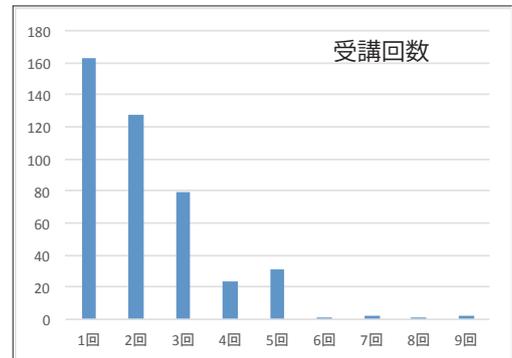
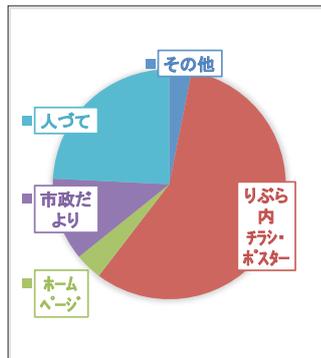
【りぶら講座受講者年代】

受講者の年代は、男性の場合60代をピークとして、50代から70代で87%を占める。団塊の世代の定年が影響と思われる。女性は60代を中心に幅広い世代が参加している。



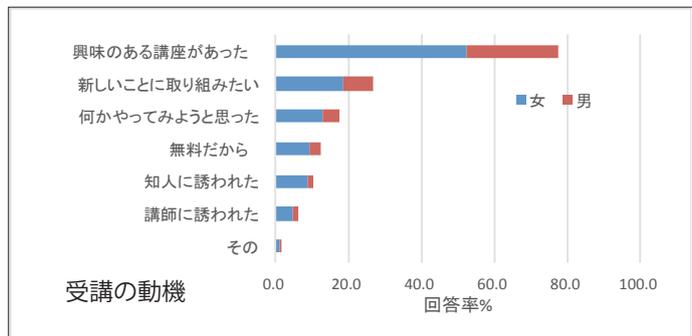
【りぶら講座を何で知ったか】

りぶら内のチラシ・ポスターが60%近くを占める。次に多いのが人づての24%、市政だよりが約12%と続く。りぶらにこない人への呼び込み手段が不足していると思える。



【受講回数について】

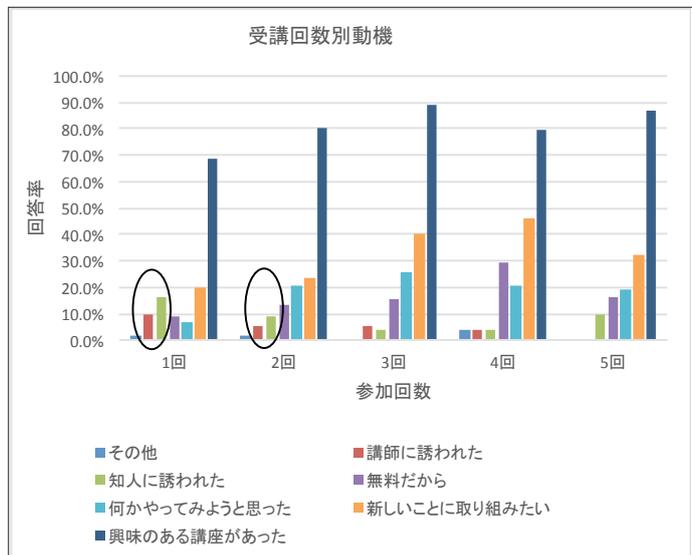
受講回数と受講人数の関係を示す。初めて参加した人は163名の38%を占める。2回以上の参加、言い換えればリピーターは268名で約60%になる。リピーターの多くは違う講座に参加。6回以上の方は6名で最高は9回。9回の方は2名で27歳と72歳の女性。



【受講の動機】

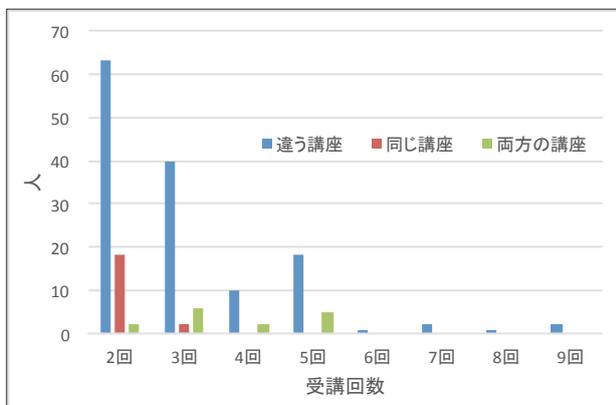
参加の動機としては男女ともよく似た傾向であり、「興味のある講座があった」が高く、合わせて約80%になる。積極的な動機の「新しいことに取り組みたい」および「何かやってみようと思った」人は、全体で40%を占める。女性は男性に比べ、誘われて参加した人がやや多い傾向にある（19.5%／11.7%）。

初回の方は2回以上の方に比べて、講師や知人に誘われた割合が高い。2回目以上の方は、興味のある講座を積極的に見つけ、「新しいことに取り組む」「何かやってみよう」との意思が高くなっていることが伺われる。参加数の多い方は、無料のありがたさを感じている。



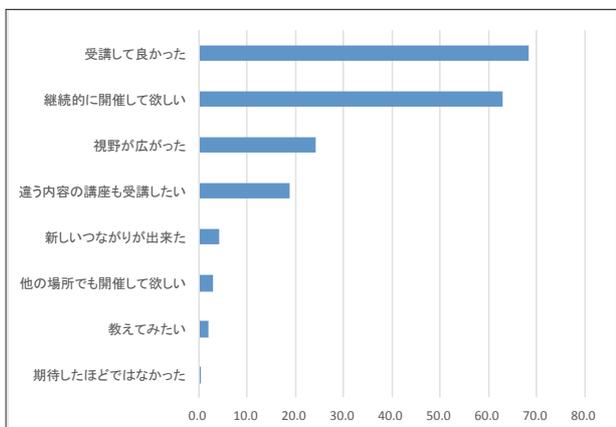
【複数回参加した人の次講座の選択】

複数回受講した人の多くは違う講座を受講している。



【りぶら講座に参加してどのように思ったか】

70% 近い人が「受講してよかった」と、さらに60% を超える人が、「継続的に開催してほしい」と回答している。「教えてみたい」の9名は注目に値する。



【主な感想】

- ・このような市民による市民のための講座は大変よいと思います。ますます活性化されますことを願っています。
- ・託児付きでお願いしたいです。公立幼稚園のお迎えと重なってしまうものが多く、興味があるのに参加できません。
- ・講師が丁寧やさしく話していただき、楽しかったです。
- ・とても分かりやすく、指導が上手でした。

- ・わかりやすく気持ちよく参加できました。また、来たいと思います。
- ・本当に久しぶりに大きな声を出して歌ったので、大変に気持ちがよく楽しかったです。
- ・年齢と共に手指の運動をしたほうがいいとは思っていたので、今回のオカリナをやってみて本当によかったと思いました。
- ・初めての太鼓は楽しかったです。
- ・とても分かりやすく興味のある講座でした。費用有で継続的に開催していただけたら嬉しい。
- ・9回もいろいろ勉強させていただきました。厚くお礼申し上げます。
- ・色についてとても興味深いお話でした。もっと学びたいと思いました
- ・少人数でていねいに教えてもらったので、よく分かり楽しく学べた。
- ・講座の情報をどこで知る事ができるかわからなかったが、歴史講座はおもしろかった。講師の話はわかりやすくてよかった。部屋が寒い。色々な人々が講座を行う事は大変よいと思う。
- ・他では扱っていない内容で、ちょうど私が求めていた内容だったので、すごく参考になり感激です。実践したいと思います。
- ・元気が出ました。一分間体操が面白かった。
- ・どの講座も聞いて終わりの講座が多い。講座の中で出席者同士で意見交換する場がほしい。
- ・定年で時間もいっぱいできたので、只今、模索中です。何かいいアドバイスが欲しいです。次回を楽しみにしています。
- ・自分の時間が合えばぜひ正式に受講してみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・とにかく何でもチャレンジしてみたい。
- ・堅苦しくない楽しい時間でした。心のこもった講座ありがとうございました。
- ・昔から希望していた講座です。やっと受講出来ました。今後少しずつ実施していきます。
- ・若い人がいない。みんな知り合い同士みたい。若い人や新しい人を取り込まないと。
- ・瞑想の時間を日常に取り入れたいと以前から思っていました。入門編だったのでとてもいい機会になりました。
- ・習ってみたかったことだったのでとても興味深く講座を受けることが出来ました。
- ・大変分かり易くお話しいただき、おもしろかったです。もっと勉強させていただきたいと思いますので、また次回も受講させていただきたいと思います。

シネマ・ド・リぶら

事業の目的

図書館の映像資料を活用し、スクリーンでの映画鑑賞機会を作るとともに、映画にまつわる関係資料の案内をして、図書館資料の活用を図る。

活動実績

【上映会】リぶらホール

開催日	上映回数	上映作品	参加人数
4月18日(木)	2回	夜の騎士道	329人
6月20日(木)	2回	西部の男	266人
7月18日(木)	2回	禁じられた遊び	352人
8月22日(木)	2回	父と暮らせば	419人
10月17日(木)	2回	ローマの休日	438人
12月19日(木)	2回	それでも生きる子供たちへ	206人
1月16日(木)	2回	道	333人
2月21日(木)	2回	そして誰もいなくなった	374人
8日	16回	合計	2,717人

【関連資料のテーマ展示】 上映映画にまつわる関連資料を、上映会前週(木)から後週(火)まで、ポピュラーライブラリーで展示した。

【映画サロン】 上映会当日の上映開始前と終了後に、ホールのホワイエにて来場者の交流の場としてのサロンを開設した。

【上映会の計画・運営】

- ・各上映会終了後、スタッフ及びボランティアで気付き事項・諸計画・懸案事項の打合せ、及び上映会準備の情報交換を行った。
- ・『じんじん』の上映について検討した。
- ・上映開始前のスクリーンを利用した広報プレゼンテーション(LSC活動の紹介、次回予告、お願い等)の充実を図った。
- ・上映会当日の受付やサロン接待のボランティアが増えた。
- ・賛助サポーターへの呼びかけから登録が進んでいる。

【広報資料・配布資料作成】 上映会ごとに来場者配布用の「コラム・ド・シネマ」を作成した。

【映画講座の開催】

8/8(木)「オードリー・ヘップバーンが輝いていたワケ」

- ・講師：小島一宏氏
- ・会議室 103 13:30～15:00
- ・参加者 30名 スタッフ 5名
- ・次回上映作品『ローマの休日』にちなんで、東海ラジオパーソナリティーの小島一宏氏に、ドキュメンタリーなどの映像を含め、数々の映像資料とともにA・ヘップバーンの魅力について語っていただいた。

「オードリー・ヘップバーンが輝いていたワケ」

シネマ・ド・リぶらの映画講座 1

講師：小島一宏さん
東海ラジオパーソナリティー/次岡大学准教授

「スタジオ・トーク」と題されたオードリー・ヘップバーンに関する本を、今世で読まないと後悔してしまうかもしれません。是非読んでほしいです。その魅力をこの講座で、お話ししたいと思います。

オードリー・ヘップバーンに関する本の中から、彼女の魅力が伝わる本を、先生・先生の質問にも答えていきます。



●日時 8月8日(木) 14:00～15:30

●場所 会議室 103

●定員 60人

●参加費 500円(当日徴収)

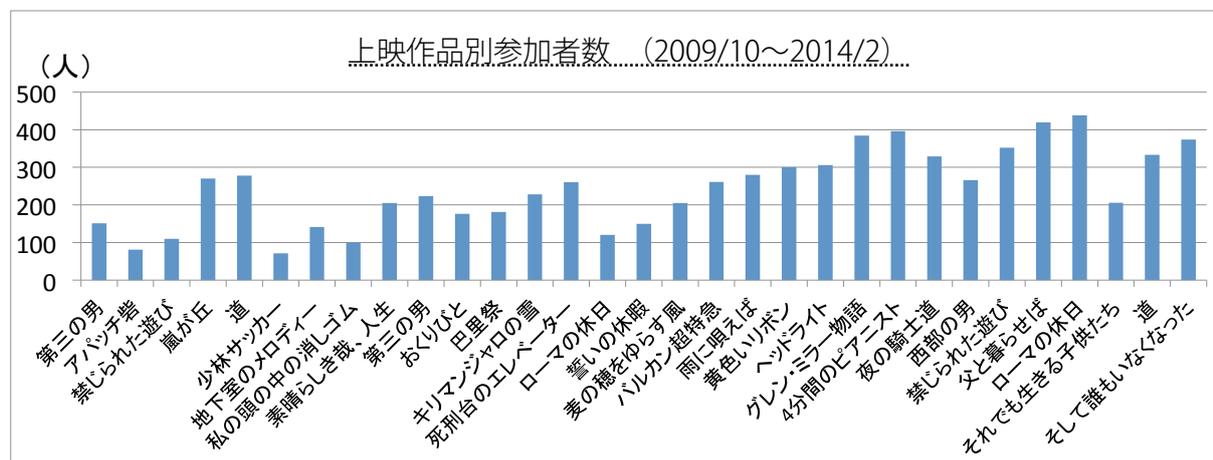
●申込み 7月25日(土) 15時締切で受付
庶務課センター 0564-23-3114

●問合せ 伊藤 090-6574-3312
Eメール: info@libra.ac.jp

©LIBRA LIBRARY

シネマ・ド・リぶら上映会参加者数（観客＋スタッフ）の推移

No.	上映作品	製作	上映日	参加者数
第1回	第三の男	1949年 イギリス	2009/10/8	151
第2回	アパッチ砦	1948年 アメリカ	2009/12/10	81
第3回	禁じられた遊び	1951年 フランス	2010/3/11	110
第4回	嵐が丘	1939年 アメリカ	2010/4/10	270
第5回	道	1954年 イタリア	2010/6/10	278
第6回	少林サッカー	2001年 香港	2010/8/19	71
第7回	地下室のメロディー	1963年 フランス	2010/10/7	141
第8回	私の頭の中の消しゴム	2004年 韓国	2010/12/2	100
第9回	素晴らしき哉、人生	1946年 アメリカ	2011/2/3	205
第10回	第三の男	1949年 イギリス	2011/4/14	223
第11回	おくりびと	2008年 日本	2011/5/12	176
第12回	巴里祭	1933年 フランス	2011/7/14	181
第13回	キリマンジャロの雪	1952年 アメリカ	2011/8/25	228
第14回	死刑台のエレベーター	1957年 フランス	2011/10/13	260
リぶらまつり	ローマの休日	1954年 アメリカ	2011/11/13	120
第15回	誓いの休暇	1959年 ロシア	2011/12/8	150
第16回	麦の穂をゆらす風	2006年 イギリス	2012/2/16	205
第17回	バルカン超特急	1938年 イギリス	2012/4/19	261
第18回	雨に唄えば	1953年 アメリカ	2012/6/21	280
第19回	黄色いリボン	1949年 アメリカ	2012/8/23	300
第20回	ヘッドライト	1955年 フランス	2012/10/18	306
第21回	グレン・ミラー物語	1953年 アメリカ	2012/12/20	384
第22回	4分間のピアニスト	2006年 ドイツ	2013/2/21	396
第23回	夜の騎士道	1956年 フランス	2013/4/18	329
第24回	西部の男	1940年 アメリカ	2013/6/20	266
第25回	禁じられた遊び	1951年 フランス	2013/7/18	352
第26回	父と暮らせば	2004年 日本	2013/8/22	419
第27回	ローマの休日	1954年 アメリカ	2013/10/17	438
第28回	それでも生きる子供たちへ	2005年 イタリア/フランス	2013/12/19	206
第29回	道	1954年 イタリア	2014/1/16	333
第30回	そして誰もいなくなった	1945年 アメリカ	2014/2/20	374



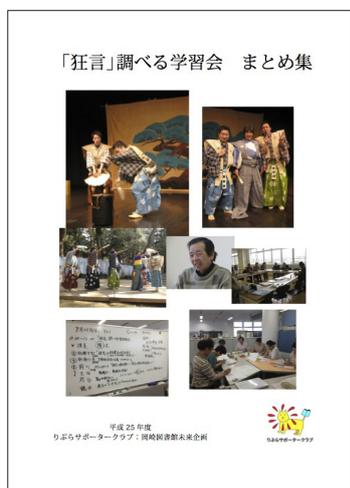
岡崎図書館未来企画

昨年度末からの「調べる学習会」を継続し、11月末締切の「第17回「図書館を使った調べる学習コンクール」」に応募しました。

「狂言」をテーマに進めた「調べる学習会」は、竹内先生の学習会への参加も大きな一助となり、それぞれに関心のある方向を定めて掘り下げていくことができました。また、「図書館まつり」での発表という機会も得られ、「狂言」への関心をより高めることができました。「りぶら」が、図書館を核にした生涯学習施設であることを、最大に活用できた企画になったと思います。

参加者は、初回の13名から座礁や遭難者も出て、「図書館まつり」での発表者が3名、最終的なレポート作成者が4名となり、「まとめ集」には初期参加と途中参加の各1名に感想を書いていただくことになりました。最終的に、個々のレポートとまとめ集を対象として応募し、右の結果を得ることができました。

また、「書架整理」のコーディネートと「本の清掃」を、引き続き実施（毎月2回（第1・第3木曜日 10:00～11:30））しました。



開催日時	内容
4月5日（日） 8:00～22:00	「狂言」調べる学習会 奈良ツアー（春日大社） 6名で「水谷神社鎮花祭」の狂言奉納を見学（12:00～）
5月19日（日） 10:00～11:40	第3回「狂言」調べる学習会 レポートの書き方について、お稽古の開催について
6月23日（日） 10:00～11:40	第4回「狂言」調べる学習会 発表の仕方について
7月28日（日） 10:00～12:00	第5回「狂言」調べる学習会 発表の内容とレポートのまとめについて
8月25日（日） 10:00～12:00	「狂言」調べる学習会発表会 in 図書館まつり レポートの発表 ①前川正博 「狂言」の歴史調べ ～「狂言」の未来は前途洋々か？ ②杉浦千秋 「狂言」は日本最古の会話劇 ③杉浦仁美 大藏流狂言の名寄でわかったこと 奈良篠基会代表 竹内寛師のお話 関西大学教文学部 関屋俊彦教授のお話
11月24日（日） 14:00～15:30	まとめ集の校正 コンクール応募準備

【奨励賞：大人の部】

能舞台 ー無限大の空間！ー 大西美和
大藏流名寄一覧作成でわかったこと 杉浦仁美

【佳作：大人の部】

『狂言』調べる学習会 渥美 栄
狂言は日本最古の会話劇
ーひょっとして三河弁？&オノマトペー 杉浦千秋
『狂言』調べる学習会」に参加して 鶴田由喜枝
狂言歴史調べ「狂言の未来は前途洋々か？」 前川正博

【佳作：図書館を使った調べる学習活動の部】

「狂言」調べる学習会まとめ集
りぶらサポータークラブ 岡崎図書館未来企画

※ 参考：図書館振興財団ホームページ <https://www.toshokan.or.jp/>

りぶら いきものみつけ隊



「りぶら いきものみつけ隊」は、2013年4月21日～2014年3月23日までの間、11回活動しました（11月はりぶらまつり開催のため休会）。

活動範囲は主に、りぶらから伊賀川沿いを通って岡崎公園を散策するというものです。岡崎公園は、伊賀川・乙川に囲まれた城址公園であることから古木やお堀などがあり、春夏の野鳥の渡りの時期には、多くの渡り鳥の休憩地にもなる自然観察に適した場所です。

活動は主に自然観察ですが、特に暑い時期や寒い時期は、会議室でできる活動に重点を置き、参加者の体調にも気を使いながら活動をしてきました。

日にち	曜日	時間	テーマ
4月21日	日曜日	10:00~12:00	春のおとずれを探してみよう2
5月3日	金曜日	10:00~12:00	夏鳥の渡り岡崎公園ってすごい
6月9日	日曜日	10:00~12:00	自然観察会
7月6日	土曜日	10:00~12:00	びん道を仕掛けてみよう
8月4日	日曜日	10:00~12:00	チリメンモンスター 4
9月15日	日曜日	10:00~12:00	自然観察会
10月20日	日曜日	10:00~12:00	自然観察会
12月28日	土曜日	10:00~12:00	冬鳥を探して
1月18日	土曜日	10:00~12:00	自然のかたち “こすり絵”
2月16日	日曜日	10:00~12:00	ちりめんモンスター 5
3月23日	日曜日	10:00~12:00	春をさがしに 自然観察



【活動のトピックス】

5月：みんなで天然記念物「キシノウエトダテグモ」の巣を見つける事ができた。

7月：仕掛けた「びん道」一つに10匹以上の魚が入って、参加者みんなが興奮した。

8月：チリメンジャコの中のタツノオトシゴが見つかった子供たちが嬉しそうだった。

1月：コピー用紙・クレヨン等を利用して、木の葉等の葉脈を「こすり絵」として確認した。中には、目鼻を付けて作品としても可愛い「こすり絵」ができあがった。

3月：岡崎公園に特異的に訪れるヒレンジャクを、参加者全員で観察することができた。珍しいトラツグミの観察もでき、岡崎公園の自然の豊かさを再認識した。



外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.4

2/2 (日)、りぶらホールにて「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」が開催されました。4回目となった今大会、出演者 20 組 (22 名)・ゲスト 1 名・審査員 5 名・司会者 1 名、スタッフ 7 名・ボランティア 12 名・職員 2 名・来場者 192 名・合計 242 名が、それぞれの場所で交流を深めることができました。

出演者・曲目リスト&結果一覧

No.	氏名	出身国	曲目	結果
1	ストーン・アナルイス	U.S.A	私だけに「エリザベート」より	参加賞
2	アーロン・サトリー	U.S.A	Shiny tale	参加賞
3	マーク・リー ルパリ・グプタ	イギリス インド	リンダリンダ	参加賞
4	ジャージェ	中国	会いたい	参加賞
5	コメスジョン	ブラジル	北の蛍	参加賞
6	北川モモエ スザナ	ブラジル	好きな人	参加賞
7	ジョア カブラル ダシルバ	ブラジル	しゃぼん玉	特別賞
8	北川タクミ ファビオ	ブラジル	愛の鎖 桜	入賞
9	山本マリナ	ブラジル	献身	参加賞
10	ロベルト・シゲノリ・コガ ロブソン・アラカキ	ブラジル	サライ	参加賞
11	マリオ イサオ シロマ	ボリビア	ランナウェイ	参加賞
12	北川バネサ	ブラジル	あなたに逢いたくて	参加賞
13	タロー アレキサンダー	U.S.A	有楽町で逢いましょう 港町涙町別れ町	入賞
14	ルイス フェルナンド イノウエ ダシルバ	ブラジル	トンボ	参加賞
15	リュウカ	中国	未来へ	参加賞
16	ハンリー	中国	空港	参加賞
17	森口モニカ	フィリピン	珍島物語 for you	入賞
18	クリスチャン・バーク	U.S.A	宇宙戦艦ヤマト ジェットイカロス 無敵ロボ!	審査員賞
19	ゴトウ ウェメリン	フィリピン	ごめんね ベサメ・ムーチョ	優勝
20	シャ アイチュ	台湾	さよならの夏「コクリコ坂」より	参加賞

- 【司会】牧野順一
 【審査員】 柏木典子 岡崎音楽家協会代表
 浅井寮子 (株) リバーシブル編集長
 内田 明 りぶらサポータークラブ副代表
 木俣弘仁 岡崎市文化芸術部長
 藤野晋爾 岡崎市市民協働推進課国際班
 主任主査
 【ゲスト】 戸井カロリネ 前年度優勝者



- 優勝者賞：自転車&りぶらグッズ
 審査員賞：オープンスター&りぶらグッズ
 入賞：図書券&りぶらグッズ
 特別賞：電気ケトル&りぶらグッズ
 参加賞：りぶらグッズ・鉢植えのお花



【来場者の感想】



- ・ 素晴らしい日曜の午後のひとときを過ごせました。
- ・ 楽しめました。ビックリ！
- ・ 孫と一緒に楽しめました。
- ・ 面白かったです。皆さんお上手で感激しました。
- ・ 初めて聴かせていただきましたが大変楽しかったです！
- ・ 皆さんとても上手ですごいなと思いました。
- ・ 賞状も出してください。入賞者にもっとたくさんの賞品を！
- ・ カラオケは日本の文化です。
- ・ 毎年楽しみ。本当に大好きな活動です。
- ・ 歌の実力も良くなるようになりました。参加の人も多くなった。
- ・ ポスターを見て来ましたが、楽しく聞かせてもらいました。
 このようなイベントは続けて行ってほしいです。
- ・ 初めて参加。外国の方々の心意気に圧倒された。
 これからもぜひ続けてほしい。
- ・ 楽しかった。陽気な人が多い。
- ・ 音感自慢・リズム・テンポ感覚とはいえ、人間には国籍など関係なく備わっているものと思いました。
- ・ 音感のない方もおられ、ある意味安心しました。
- ・ 歌後のインタビューにおいて、日本語が旨く長く日本に在住の
 気配を感じました。
- ・ 大会なので、予選と本選と別曲を歌う企画が素晴らしいし、よりよい審査ができると思います。
- ・ 新しい曲や古い曲もあり、なかなか郷愁をおぼえるものであります。
- ・ とっても素晴らしい。外国人とはとても思えないくらい。
 来年も、是非来たいです。



ゲストの戸井カロリネさん



優勝：ゴトウ ウェメリンさん



審査員賞：クリスチャン・パークさん



入賞：タロー アレキサンダーさん



入賞：森口モニカさん



入賞：北川タクミ ファビオさん



特別賞：ジョア カブラル
ダシルバさん



審査員長の柏木典子さん



司会の牧野順一さん

冬のコンサート

開催日時:12月21日(土)

お堀通り1階

歌声もレベルアップし、多くの来館者の皆様が、澄んだ大人の歌声・童心に戻った童謡・若者のはずんだ歌声を楽しみました。



9:30 ~ 10:00
童謡 すみれの会

「たきび」
「銀色の道」
「サンボ」ジブリより



10:30 ~ 11:00
岡崎市PTAコーラス連盟合唱団

「クリスマスソングメドレー」
「虹の彼方に」
「踊りあかそう」



11:30 ~ 12:00
ワンボイス岡崎

「サンタが街にやってくる」
「Happy」
他2曲



14:00 ~ 14:30
岡崎城西高校コーラス部

「未来予想図II」
「ジョイフルジョイフル」他



大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」

2013年3月31日にりぶらホールにおいて、大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」を開催後、7月から月2回のペースで、大藏流狂言師の竹内寛（たけうちゆたか）先生をお迎えして、狂言のお稽古が始まりました。

11月の、「りぶらまつり2013」では、岡崎のお弟子さんと大藏基成さん・竹内寛先生・増田健さん他、奈良のお弟子さんをお迎えし、「附子」（ぶす）と「舎弟」（しゃてい）のお稽古発表をし、お座敷狂言の形式で大藏基成さん主演の「魚説教」（うおぜつきょう）を演じていただきました。

その後もお稽古は続き、2014年2月22日には、大藏基成さん・茂山良暢さん・竹内寛先生・増田健さん・大藏康成くん・miso娘の皆さん、奈良と岡崎のお弟子さんを迎え、第二回大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」を開催しました。

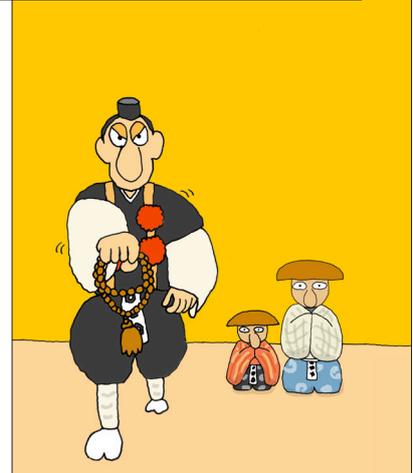
当日は、「寝音曲」（ねおんぎょく）と「菌」（くさびら）を鑑賞後、大藏基誠さん・茂山良暢さんの軽妙なトークで、狂言に関するお話と質疑応答の時間を設け、ポスター・ポストカードにサインをいただき、じゃんけん大会で舞台と会場が一体になって楽しい時間を過ごすことができました。

第二回大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」では、第1回同様に20社の協賛金（協賛金収入220,000円）をいただき、招待・前売・当日券を含め、200人ほどの来客でした。

また今回は、茶畑和也さんに狂言のイラスト2点を書いていただき、ポスター・ポストカード等に利用し、残ったポストカードは新たな「りぶらグッズ」として利用することになっています。

2月22日以降も、岡崎でのお稽古は月2回ペースで継続中です。お弟子さんは、5月24日に奈良新公会堂「能楽堂」で、お稽古の発表として「鞍馬参り」（くらままいり）を演じることになっています。

第三回大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」の開催を要望される声もあり、お稽古を続けているお弟子さんもありますので、この活動の火を消さず、岡崎に大藏流狂言の文化が根付くことを期待しています。



平成 26 年度の活動方針

【サポーター登録の推進】

昨年度、「みんなりぶらのサポーター」として、りぶらを支援する会員のあり方と会費を見直すとともに、会則の改正を行いました。結果、昨年度末 25 名の会員からサポーター登録者が 55 名となり、目標とした賛助会費も若干上回る金額を得ることができました。りぶらのサポーター意識がよりよい施設作りにつながることを、より周知できるよう努めてまいりたいと思います。

【事業案について】

年間を通し、定例的に開催される事業が安定してきました。よりシステムチックな運営を目指すとともに、新たなサポート事業を模索していきたいと思います。

区分	事業		開催予定日	担当
運営	運営会議		月1：月曜日18:30～	山田
	会員研修		随時	
	サポーターマネジメント		随時	
	広報	情報誌編集	6/1・9/1・12/1・3/1発行	戸松
		ホームページ運用・更新	随時	
		りぶらグッズ	随時販売	
りぶらまつり		6/22（日）7/13（日）9/14（日） 10/12（日）11/9（日）11/30（日） 開催日：11/15・16（土・日）	杉浦	
活用	岡崎図書館	企画・提案	随時	戸松
	未来企画	書架整理／本の清掃	随時／第1・第3木曜日10:00～	山田
	生涯学習	岡崎市はじめましてサロン	随時	戸松
		りぶら講座	前期（4月～7月） 中期（8月～11月） 後期（12月～3月）	
	シネマ・ド ・りぶら	映画上映会	4・6・9・10・12・1・2月 第3木曜日 ①10:30～ ②14:00～	内田
		映画講座	検討中	
	りぶらいきものみっけ隊		第3日曜日（5月～10月）12月～月1	杉浦
	冬のコンサート		12/20（土）	石尾
	外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会		2/1（日）	前川
	活動 支援	狂言教室		5月まで
参画	子ども遊びワークショップ		8/2・3（土・日）	山田
	七夕飾り			
	図書館まつり	『じんじん』上映会	8/21（木）	戸松
		本の清掃	8/21（木）	石尾
派遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		石尾	